

頑張れ！受験生

先輩からのエール

先輩の後に付いて勉強する忙しい日々ですが、患者さんの笑顔に触れる事ができて、とても充実しています！



Y.T.さん
卒後1年目、神奈川県内の診療所勤務。

国試は1年に1度きり。皆さんも体調管理には気を配っていると思いますが、「何があるかわからない」のが人生！私も試験当日の朝まで元気いっぱいだったのに、緊張したせいか、突然試験中に胃が痛くなってしまい……。午後は何度も会場の外に出て休みながらなんとか受験できましたが、合格発表までは不安で仕方がありませんでした。

それでも無事合格できたのは、対策をやるだけやっておいたおかげ。特に基礎科目は苦手意識が強いため、ついつい後回しにしてしまい、直前になって慌てて勉強したのですが、ひたすら過去問を解いて、苦手なポイントを見つけてはノートにまとめて暗記しました。『直前マスター！』のような参考書があれば、もっと効率的に苦手を克服できると思いますよ。実際に臨床現場に出てみると、受験前に必死で覚えた「基礎」の大切さが身にしみてわかります。“一生モノ”の勉強ですから、最後まで諦めないで頑張ってください！

ご注文は…

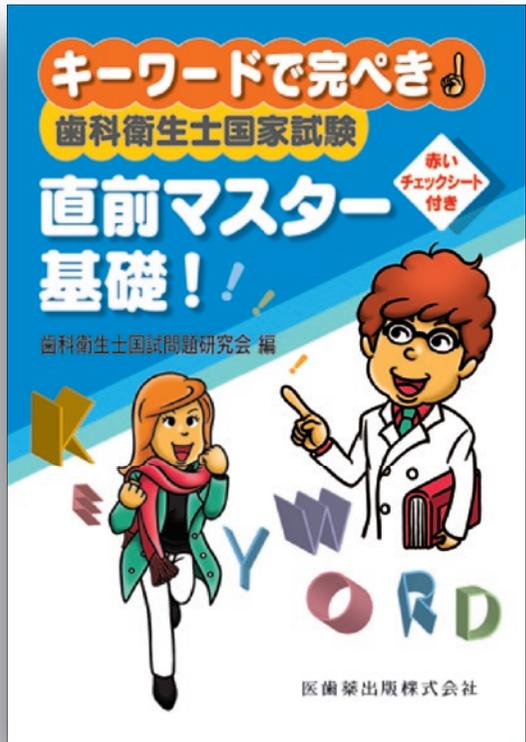
- ①全国の書店、歯科材料店および大学歯学部売店、生協で取り扱い
- ②携帯電話でQRコードをスキャンして医歯薬出版オンラインショップにアクセス
- ③パソコンで<http://www.ishiyaku.co.jp> 医歯薬出版オンラインショップにアクセス
- ④TEL 03-5395-7630, FAX 03-5395-7633, E-mail : d-sales@ishiyaku.co.jp



緊急出版！ キーワードで完ぺき！ 歯科衛生士国家試験 直前マスター 基礎！

合格へのラストスパート

歯科衛生士国家試験(2010年3月7日)まで **あと2カ月!**



歯科衛生士国試問題研究会 編
■A5判 / 224頁 / 2色刷
■定価 2,415円 (本体 2,300円 + 税 5%)
ISBN978-4-263-42171-0

長かった受験勉強もいよいよ大詰め、2カ月後の国家試験に向けてラストスパートをかけて、知力・気力・体力ともに万全で臨みたいところですね。そんな皆様のために、歯科衛生士教本などでおなじみの医歯薬出版から、国試対策の力強い味方が登場しました。名付けて『キーワードで完ぺき！ 歯科衛生士国家試験 直前マスター 基礎！』。基礎科目は1年生で習ったのでもう忘れてしまった……。『直前マスター』はそんなあなたにおくる、**最も苦手意識の強い基礎系科目の弱点を短期間で一気に克服できる優れモノです！**

医歯薬出版株式会社

Tel.03-5395-7630 Fax.03-5395-7633
<http://www.ishiyaku.co.jp>

医歯薬出版だからできる！これまでなかった 直前マスター！

要点ちゅっく 10



★ 脳

★

- ・ 脳は左右の半球に分かれ、表層2~4mmを大脳皮質（灰白質）、その内層を大脳髄質（白質）という。
- ・ 大脳半球は大きな溝によって前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉に区分される。
- ・ 大脳皮質すべてが同じ働きをもつわけではなく、それぞれ特定の機能をもつ。これを機能局在という。

★ ★ 大脳皮質の機能局在

局在	機能
運動野	・ 随意運動を統御している。前頭葉の中心前回に存在する。 ・ 咀嚼野は運動前野の下方にある。
体性感覚野	・ 中心後回に存在する。 ・ 皮膚や深部組織の感覚。
視覚野	・ 後頭葉に存在し、網膜に対応して形や識別を行う。 ・ この部位が傷害されると、文字はみえても理解ができない。
聴覚野	・ 側頭葉の横側頭回に存在する。
連合野	・ 認識、記憶、理解、判断、感情、意志などの精神活動を営む領域。 ①前頭連合野 運動の統合中枢、発声の統合中枢（ブローカー領域）、創造・意欲の中枢、意志や感情 ②頭頂後頭連合野 認識、理解、判断、視覚の統合 ③側頭連合野 獲得と想起
言語野	・ 言語中枢は言語を司り、運動性言語中枢と感覚性言語中枢の2つがある。 ①運動性言語中枢（ブローカー領域） 前頭葉後下部にあり、言語を話すのに必要な骨格筋の運動を制御する。 ②感覚性言語中枢（ウェルニッケ領域） 側頭葉中央部、聴覚野近隣に位置する。聞いた言葉の意味を理解する。



大脳皮質はヒトで最も発達している部位です。大脳皮質のどの部位が何に関係しているか確認しておこう。

国試の傾向を知り尽した 著者からのやさしいアドバイス

本当に大事なポイントだけを見開き2頁でチェック！

★の数で重要度がわかります

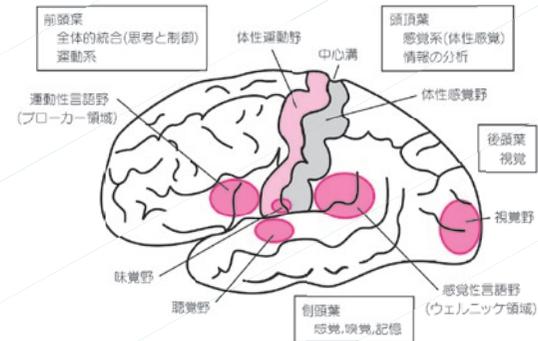
実力完成問題

本番を想定したオリジナル 実力完成問題で力試し

- 問 大脳皮質の機能局在で正しいのはどれか。
- 運動野は後頭葉に存在する。
 - 咀嚼野は運動野に存在する。
 - 体性感覚野は前頭葉に存在する。
 - 感覚性言語中枢は前頭葉に存在する。

ポイント

大脳皮質には運動機能、感覚機能、連合機能を行う領域が存在し、特定の機能の中枢としてその機能を統合しています。大脳皮質の機能局在について、各領域に存在する中枢を、部位を含め整理しておきましょう。随意運動の中枢である運動野は前頭葉の中心前回に、体性感覚（触覚、圧覚、冷覚、温覚、痛覚）が投射される体性感覚野は中心後回に存在します。また、認識・記憶・理解・判断・感情などの精神活動に関与する領域を連合野といい、頭頂後頭連合野、前頭連合野、側頭連合野があります。



解答へのアプローチ

- × 運動野は前頭葉の中心前回に存在する。
- 咀嚼野は運動前野の下方に存在する。
- × 体性感覚野は中心後回に存在する。
- × 言語中枢には感覚性言語中枢（ウェルニッケ領域）と運動性言語中枢（ブローカー領域）とがある。感覚性言語中枢は側頭葉中央部で聴覚野の近隣に存在し、この部位が傷害されると（話すこと書くことはできるが、意味を理解できない）となる。運動性言語中枢は前頭葉後下部に存在し、会話に必要な骨格筋の運動を統御している。この部位が傷害されると（口を動かし声は出せるが、言語の発音ができなくなる）となる。



答 b

赤いチェックシートで重要語句を消して暗記しましょう！